

包装タイムス

THE HOSO TIMES

週刊

月曜発行

発行所
株式会社 日報アイビー
Vision Vitality Victory

<東京>〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-1-5
電話03(3262)3463(代)FAX03(5276)4431
<大阪>〒541-0064 大阪府中央区南船場1-3-11
電話06(6262)2402(代)FAX06(6265)7127
<広島>〒733-0861 広島市西区草津東2-2-38
電話082(274)2650 FAX082(274)2651

インタビュー

シール・ラベル印刷加工機および軟包装印刷機を販売するケーピージー(若手県奥州市、☎0197・46・4551、以下KPG)に全額出資している親会社、東洋工機(岩

日)に就任し、両社の社長を兼任することになった。

代表取締役社長 就任の打診はいつ頃か?

「昨年、平成19年6月の取締役会で理由もあり、今期の役員改選で正式に社長に就任することになりました」

「KPGは印刷機を販売し、その製造メーカーである東洋工機は印刷機以外の自家製品も扱っている。」

「ええ、そうです。平成18年創立のKPGは印刷機以外の自家製品も扱っている。」

「中国の代理店、BASHEを通じて、ダブルドラム(6色+2色+2色)仕様で、抜きがフラットベツタイプ印刷機を9月初旬に中国・深圳(展示会)で発表します。ダブルドラム仕様なので、表8色はもちろん、表6色に裏2色、表2色に糊面2色といった印刷加工がフレキシブルに対応できます。また大きなワンドラムに比べ作業性やメンテナンス性にも優れ、現地への輸送コストも削減できます。ACサーボ搭載でテンションコントロールも安定しています」

『東北から世界へ』

代理店制度の導入検討

手県奥州市、☎0197・46・4441)の代表取締役、KPG代表取締役の鈴木英也氏が6月23日

交代の時期であるとのこと、ほぼ内定しております。また佐藤(好夫)前社長自身の健康上の

Gも、スタート時の社員5人から、現在は私以外に10人にまでなり、売り上げも順調に伸ばしてきま

した。東洋工機は取引先の大型倒産による影響もありましたが、その危機は乗り越えました。今後も、従来からある東洋工機の特出すべき精密

ユーザー直販でしたが、今後は印刷機と同様に代理店制度の導入も検討しており、グローバルな展開も視野に入れた取り組みを行っていき



東洋工機・代表取締役 (KPG・代表取締役) 鈴木 英也氏

「順調な伸びを示しているKPGについては売り上げは2倍に、東洋工機は2期目で前期の3倍の実績をあげたい。また、東洋工機はアパレル関係では他社にない技術ノウハウがあります。この東北の技術をアジアへ、世界へと広げていきたい」

「プロフィール」
すずき・ひでや
1957年2月12日生まれ、51歳。79年3月日大生産工学部卒、同年磐田電工・山形工場入社。88年コーパックインターナショナル入社、2006年に退社。同年9月KPG設立、代表取締役に就任。07年6月東洋工機取締役に就任。08年6月同社代表取締役に就任。

「東洋工機および」

「東洋工機および」